

授業科目	簿記入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21403J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP4-3			
担当教員	高橋 和幸							
授業概要	<p>本授業は、学生が社会的・職業的自立を図れるように、企業での簿記実務についての教員自身の経験もふまえ、ビジネスパーソンにとって必要不可欠である、複式簿記の知識の習得を目的とする。</p> <p>この目的に向けて本授業では、財務諸表の内容と簿記の基礎概念、記帳の基礎、期中取引の処理について理解する。</p> <p>すなわち、まず簿記の意義、財務諸表の内容、簿記の基礎概念、記帳の原理について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的な基本的知識を得ることができる。</p> <p>その後、基本的な期中取引の処理、試算表の作成、伝票と仕訳日計表について説明する。これによって、財務諸表の作成準備ができるとともに、簿記一巡の手続きについて理解することができる。</p> <p>また、本授業は日商簿記検定初級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答できるようになることも目指す。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるすることができる。 3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 4. 簿記一巡の手続きについて、説明することができる。 5. ビジネス社会における簿記の役割について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	60	40					100	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるることができる。 3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 4. 簿記一巡の手続きについて、説明することができる。 5. ビジネス社会における簿記の役割について説明できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるることができる。 3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	ガイダンス・シラバスの説明 講義の進め方や留意事項等について。	講義	シラバスを熟読する。	60・60
2	簿記の意義 簿記とはどのようなものかについて概観する。	講義	予習:テキスト・特別企画の p.8~20を読む。 復習:ノート等をもとに第2回 講義の内容を確認する。	60・60
3	決算書と簿記の基礎概念 資産、負債、純資産、収益、費用について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.2~10 を読 む。 復習:ノート等をもとに第3回 講義の内容を確認する。	60・60
4	取引と仕訳 取引の意義と仕訳のルールについて学ぶ。	講義	予習:テキスト p.11~19 を読 む。 復習:ノート等をもとに第4回 講義の内容を確認する。	60・60
5	商品売買取引 商品の仕入れ・売上げの仕訳について学ぶ。	講義 小テスト	予習:テキスト p.22~35 を読 む。 復習:ノート等をもとに第5回 講義の内容を確認するととも に復習問題にも取り組む。	60・60
6	現金・預金および手形 現金、預金、手形の意義と仕訳について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.38~52 を読 む。 復習:ノート等をもとに第6回 講義の内容を確認するととも に復習問題にも取り組む。	60・60
7	債権・債務に関する取引 貸付金、借入金の意義と仕訳について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.54~63 を読 む。 復習:ノート等をもとに第7回 講義の内容を確認するととも に復習問題にも取り組む。	60・60
8	債権・債務および消耗品に関する取引 その他の債権・債務の意義と仕訳について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.64~82 を読 む。 復習:ノート等をもとに第8回 講義の内容を確認するととも に復習問題にも取り組む。	60・60
9	固定資産および税金に関する取引 固定資産の購入、売却及び税金の意義と仕訳につ いて学ぶ。	講義 小テスト	予習:テキスト p.84~97 を読 む。 復習:ノート等をもとに第9回 講義の内容を確認するととも に復習問題にも取り組む。	60・60
10	資本金 資本の元入れ、引き出しの意義と仕訳について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.98~102 を読 む。 復習:ノート等をもとに第10 回講義の内容を確認するとと もに復習問題にも取り組む。	60・60
11	仕訳帳および総勘定元帳 帳簿の種類と記入方法について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.104~108 を 読む。 復習:ノート等をもとに第11 回講義の内容を確認するとと もに復習問題にも取り組む。	60・60

12	試算表 試算表の意義と作成方法について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.110~117 を読む。 復習:ノート等をもとに第 12 回講義の内容を確認するとともに復習問題にも取り組む。	60・60
13	伝票 伝票の意義と処理方法について学ぶ。	講義 小テスト	予習:テキスト p.120~127 を読む。 復習:ノート等をもとに第 13 回講義の内容を確認するとともに復習問題にも取り組む。	60・60
14	仕訳日計表と総勘定元帳 仕訳日計表の意義と作成方法、また総勘定元帳との関係について学ぶ。	講義	予習:テキスト p.128~131 を読む。 復習:ノート等をもとに第 14 回講義の内容を確認するとともに復習問題にも取り組む。	60・60
15	全体のまとめ 取引の発生から決算書の作成までの一巡のプロセスについて総合的に復習する。	講義	予習:テキスト・問題編 p.3~8 を解答する。 復習:ノート等をもとに第 15 回講義の内容を確認するとともに復習問題にも取り組む。	60・60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	簿記の理解にあたっては、まずしっかり聴講したうえで、実際に手を動かして、一問でも多く問題演習を積み重ねることを心がけること。			
テキスト	滝澤ななみ「スッキリわかる 日商簿記初級 第 3 版」TAC 出版、2020 年。			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	鶴見正史編著「複式簿記概説」五紘舎、2020年。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	各回で学ぶ専門用語や勘定科目の意味を正しく理解することと問題演習を欠かさないこと。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、試験において、複式簿記の構造と期中取引の処理について、解答できるようになれば100点。